

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	観光名所（職員）	来客数の動き	・5月は晴天にも恵まれ、来客数が前年比120%となっている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・クレジットカードの売上が前年比、前月比、前々月比ともに良くなっている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	お客様の様子	・客が商品を購入する際に、短い時間で契約に結び付くようになっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・通常、市内ではゴールデンウィーク中は客足が伸びないが、今年は来客数、売上とも増加しており、客が購入する物も、高額品から必需品まで多岐にわたっている。連休後は厳しかったものの、後半になって少し戻しており、月全体では、3か月前と比べてやや良くなっている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・5月は、カメラ、靴、スポーツ、宝石、メガネ類などの売上が、予算達成率、前年比とも110%以上と好調である。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・購買率は上がっていないが、来客数は5%程度増加している。
		百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク中の来客数は昨年と同水準であったが、売上は105%と伸びている。この数か月、実際に商品を購入する客の割合が上昇しており、個人商品に改善の兆しを感じられる。
		百貨店（販売管理担当）	来客数の動き	・食品と子供服が相変わらず苦戦しているが、婦人、紳士服ファッション雑貨などは好調に推移している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は1日平均で500人程度、昨年比110%と増加している。単価、販売点数は低迷しているが、来客数とその分をカバーしている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・5月は主力の婦人服が100.6%、婦人服飾が108.4%と、前年実績を上回っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・気温が不安定であったが、セールの効果もあり、来客数は4割増加している。高単価商品の動きも好調である。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・弁当、デイリー品、惣菜など食品関連商品の売行きが良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・毎年恒例のフェアを前倒しで行っている。客単価は多少低下しているが、来客数が好調で、単価の低下分をカバーしている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・夏物の婦人アウター商品を、低単価品から通常価格帯のものに戻したところ、客の購入が増え、売上が増加している。来客数は変わらないが、売上は上がっている。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・母の日需要を始め、春夏用ジャケットやインナーが好調である。ヒット商材であるベスト等の欠品をなくしたことも好調の要因となっている。1年2か月ぶりに、前年実績を上回りそうである。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	単価の動き	・花粉症が落ち着き、カウンセリングの接客を行いやすくなってきたため、単価が上がっている。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	単価の動き	・来客数、購入客数は前年より厳しいが、ゴールドフレームなど高額商品がよく売れ、全体の売上が底上げしており、売上は前年を3ポイント上回る見込みである。
	その他専門店〔燃料〕（統括）	単価の動き	・市況が安定しているため、適正口銭が確保されている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けは、例年どおりレストラン、バーの利用も落ち込みをみせたが、後半については例年になく回復している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宴会場の利用について、空き室状況の問い合わせが多少増加している。飲食を伴わない会議のみの問い合わせも多く、素直には喜べない面もあるほか、価格の折り合いがつかず取り込めていない仕事もあるが、動きは出てきている。	

	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・愛知万博、ゴールデンウィークなどを契機に、人の動きが増えている。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・ケーブルテレビ、インターネット、電話サービスの3サービスで、契約が順調に推移している。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ボーナス前ということもあるが、5月末になって加入件数が増加している。特別にキャンペーン広告を出していないにもかかわらず、増加傾向にある。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・販売量、顧客数の増加傾向が顕著であり、デジタル需要も順調である。
	ゴルフ練習場（従業員）	それ以外	・近くに開業した大型ショッピングセンターが混雑している。 ・当社も、先月、先々月より来客数、売上とも増加している。
	その他サービス 〔語学学校〕 （総務担当）	来客数の動き	・問い合わせ、来校者数、入校者数が増えている。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・客の計画が具体化してきて、実際の仕事に結び付くようになってきている。土地を仕入れたいという動きも多くみられる。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前は販売量が数件しかなかったが、5月に入り良くなっている。販売までには至らなくても、それに近い動きが出ている。
変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・そろそろ浴衣の季節になってきたが、昨年比で単価が1割程度下がっている。本格的な販売はまだ先だが、出だしとしては、高単価商品ではなく、中級品程度の物が動いている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が厳しい。単価も、高額品は売れない状況が続いている。
	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	お客様の様子	・5月は気温、天候に恵まれ、春、初夏物を始め全体によく売れている。近くの寺院の牡丹の花が満開で、人出が多く、売上は昨年並みだが、状況は悪くない。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	来客数の動き	・相変わらず来客数の動きが悪い。郊外店の出店やスーパーも多く、商店街全体が沈んでいる状態が続いている。
	一般小売店〔靴・袋物〕（従業員）	単価の動き	・ギフト需要が2～3割伸びている。一方、身の回りについては、前年比で単価が2割ほど低下している。ギフト需要に関しては、高額品を購入する割合が高いが、一般品に関しては購入率が低い。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・商品によっては販売量が上向いている実感はあるが、全体的には前年実績に届いていない。
	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・購入点数、単価ともに厳しい状態が続いている。
	百貨店（広報担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークから春らしい気候が続くようになり、4月まで動かなかったカットソーなどの動きが活発になっている。ただし、3～4月の低気温でこれら商品の売上は低迷しているため、春物衣料の需要全体としては若干のマイナスに終わる。
	百貨店（店次長）	来客数の動き	・5月上旬は前年並みの推移となっているが、第3週あたりから気温が低かったため、夏物商品の動きが鈍くなっている。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークが長かったことや競合店の出店で、前半が悪かったため、5月はあまり良い数字ではない。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・平均単価は若干上がりつつあるが、販売点数がまだ上向きにはなっていない。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・競合大手が価格競争を仕掛けてきているなかで、客は魅力のある商品しか購入せず、買い回りの傾向が一段と強まっている。
	スーパー（統括）	単価の動き	・主婦は依然として単価の動きに敏感で、チラシ内容等をよく見た上で、単価を比較し、買い回りを行っている状況が変わっていない。
	スーパー（管理担当）	来客数の動き	・販促等の企画を実施しても来客数が増加しない。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・常連客の来店頻度は高いものの、新規客の来店が少ない。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中にファーストフードの売上が伸び、特注の弁当の販売量も増加している。	

コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は増加傾向にあるが、客単価は依然として低下している。しかし、前年比では2%ほど上昇している。
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・来客数は前年並みに推移しているが、一点単価が下げ止まらず、売上を左右している。
衣料品専門店（次長）	販売量の動き	・この数月、販売量は前年同期とほぼ同一で推移している。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・店内が極端に混むことがなくなっている。最近、個人情報保護法が施行されたことにより、OA関連機器に関してはシュレッダーが動いているが、それ以外に目立った動きがない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・整備部門は順調に推移しているが、販売部門は先月同様、月間販売が30%減少している。
乗用車販売店（渉外担当）	販売量の動き	・5月の当社新車販売実績は予算達成率79.4%の見込み、前年同月比の伸張率はマイナス12.9%である。中古車販売実績は予算達成率84.9%の見込み、前年同月比の伸張率はマイナス2.6%である。ツーボックスカーは10か月連続で伸びを示しているものの、北米で話題のハイブリッドカーも伸びず、全般的には今一つ購買意欲が感じられない。
乗用車販売店（副店長）	単価の動き	・販売量は変わらないが、ボーナスの先行き不安などもあり、高額車はなかなか売れない。
その他専門店 [キャラクターグッズ]（従業員）	来客数の動き	・前月に引き続き、来客数の減少に歯止めがかかっていない。土日の来客数も減少している。
その他専門店 [燃料]（売場主任）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは最長10日間のところがあり、遠方へ出かける客が多く、盛り上がりを欠いた。5月は、大工が一件辞めるとの通知がきており、関連の下請の仕事もなくなる。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数は徐々に増加傾向にあるが、客単価は横ばいで、薄利多売の状況である。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客が使う金額が多少増加している感はあるが、全体的にはあまり変わっていない。
一般レストラン（店長）	単価の動き	・来客数も変わらないが、単価も一向に上がってこない。安い焼酎を飲む客がかなり多く、ビールや日本酒については全く出ない。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・会社単位の宴会は減少しているが、個人利用の婚礼が、新プランのヒットに伴い伸びている。宿泊は、日中問題の影響で、中国からの宿泊が減っている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・愛知万博の販売量が予想より伸びない。問い合わせも減少してきている。
タクシー運転手	来客数の動き	・大型連休が終わり、客の財布のひもは固くなっている。客待ちの時間が、以前よりも多少長くなっている。
タクシー（団体役員）	来客数の動き	・できるだけ電車、バスを利用している客が多い。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・新規加入者の数が横ばいである。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・営業方法を多角化して加入者獲得に努めているが、客の反応は慎重で、厳しい環境に変化はない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・デジタル放送サービスへの変更は堅調だが、放送、インターネットともに新規加入が落ち込んでいる。
通信会社（営業担当）	単価の動き	・廉価商材でないと、新規販売台数を伸ばすのが困難な状況である。
その他レジャー施設（経営企画担当）	来客数の動き	・消費を厳選する姿勢が強まっており、前年よりもかなりの工夫を行わないと、来客数を維持できない。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・住宅を建て直すよりも、マンションに入ろうという人が多く、建築関係がよくない状態が続いている。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・5月に入り、やっと行政からの指名を受けるようになり、忙しくなっているが、必ず受注につながるとは限らない。 ・改修設計が多く、予算が非常に厳しい。1～4月まで動きがなかったため、資金繰りが厳しい状態が続いている。

		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中の来客数は前年並みである。販売棟数も前年並みで、ユーザーの意思決定は相変わらず慎重である。
やや悪くなっている		一般小売店〔C D〕(営業担 当)	お客様の様子	・必要な商品がどうかを見極める消費者の目が厳しくなっている。売上の中心となるものが少なく、数字は伸び悩んでいる。
		一般小売店 〔茶〕(営業担 当)	お客様の様子	・新茶の受注本数は横ばいだが、前年よりも単価が安い商品が求められている。最近はコンビニでも上質の新茶を購入できるなど、他の商品と比較し易いため、売上が伸びない。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・先月末、大型スーパーが出店したため、その対策として、近隣のスーパーマーケットがカテゴリー値引きや日替わりの目玉商品など、今までにない安値をチラシで宣伝している。このため、来客数が大分減少している。
		スーパー(総務 担当)	来客数の動き	・競合店の増加により、来客数が安定しなくなっている。単価についても、消費税総額表示開始から一年を経過したにもかかわらず、相変わらず低迷している。
		コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・売上、来客数とも一向に伸びる気配がない。近隣の商店には閉店したところもあり、非常に厳しい状態が続いている。
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・新規に開店した店があるため、来客数が減少している。
		衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・来客数は前年と同水準だが、客単価は25%ほど低下している。客の購買姿勢はシビアであり、無駄な物は購入しない。軽衣料に動きがあるが、重衣料の動きが悪く、結果的に客単価の低下を招いている。
		家電量販店(店 員)	単価の動き	・客が安い商品を求める傾向が強まり、単価が下がっている。
		家電量販店(営 業部長)	販売量の動き	・デジタルオーディオ、TVゲーム、冷蔵庫、洗濯機は好調だが、薄型テレビ、DVDレコーダーは単価の下落でけん引力が低下している。エアコンは既存店で前年割れしており、苦戦している。
		住関連専門店 (統括)	販売量の動き	・来客数も少ないが、販売量の動きも悪く、伸び悩んでいる。
		旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・団体旅行の受注件数が半数以下になっている。南紀白浜、沖縄は好調なもの、九州方面が不調である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・5月は後半になって企業の深夜帰宅利用客が多少増えているものの、連休があった影響で月全体では伸びていない。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・住宅分譲の価格が低下している上、現地への来客数、販売量ともに減少している。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・例年5月はゴールデンウィークのキャンペーンにより来場者、販売量とも増加するが、今年は天候に恵まれたにもかかわらず来場者数、販売量ともに激減している。	
悪くなっている		商店街(代表 者)	来客数の動き	・商店街の各店舗、各業種ともに低迷しており、商店街振興組合で資料を精査したところでも、赤字になっている。
		その他小売〔生 鮮魚卸売〕 (営業)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降、まるで売れなくなっている。生活必需品に対する消費者の考え方が根本的に変わっている感がある。
企業 動向 関連	良くなっている	プラスチック製 品製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・ロットは小さいが、受注量は増加している。ただし、今年年度目となる材料単価の大幅な値上がりがあったにもかかわらず、価格は据え置きで、厳しい面もある。
	やや良くなっている	電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・引き合いの数がかかなり多くなっており、契約率も50%以上と、比較的良い。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・売上が2月比120%と良くなっている。
		建設業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・ここにきて受注量がわずかに増加している。民間工事が出てきている。
		建設業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・最近、企業が設備投資を行う中で、移転する情報が多く入ってくる。不動産にも動きがあり、受注量は増えている。
		通信業(営業担 当)	競争相手の様子	・テレビ会議システムの新製品発表が多く、市場が活性化している。

	金融業（渉外担当）	取引先の様子	・低金利を背景に、不動産投資が盛んになっている。都心商業地では、パブルの再燃と思われるほど、売買価格が上昇している。	
	金融業（審査担当）	取引先の様子	・観光バスを営業している取引先で、最近ゴルフ場からの仕事が前年の2倍に増加しており、中型バスを増車する計画であると聞いている。	
	不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・宅地需要に対して、供給が追いつかない状態が続いている。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の動きが活発である。新規の仕事の問い合わせも多い。	
変わらない	プラスチック製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・総体的にみると、受注量に大きな動きはみられないが、住宅関連部品が若干増えている。仕入れでは、原油価格の上昇に伴う原材料の値上げが依然として続いており、客も価格転嫁に耳を貸すようになったが、実行できるかは不透明である。	
	金融業（得意先担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引をしている各企業の売上は安定しているが、利幅が上がっていない。	
	広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・新年度が始まり2か月たつが、新規の事業が見当たらない。自治体の事業などは協賛企業を募らないと成立が難しくなっているが、協賛企業がなかなか集まらない。	
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・広告宣伝に関する予算の目立った増減がない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りが厳しい会社が多い。助成金に関する問い合わせも増加している。	
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・輸入品のコストが安く、国内生産の注文は厳しい。	
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・当社の見積りと、客からの値下げの依頼が折り合わないものが増えてきている。最近では、製品精度の高いものでも、値下げ要請がきている。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	取引先の様子	・3か月前と比較すると、5月は情報通信関連のシステム構築に関する客の動きが鈍く、予算獲得の提案依頼が比較的少ない上、提案を実施しても反応が悪い。	
悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月以降、どんどん仕事量が少なくなっている。新しい企画の話も聞かれない。	
	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに通常の約半分程度に減少している。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の減少、単価の下落、材料の高騰が悪循環となり、大変な状況である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・営業の人数を増やし、新商品の開発をするなど経営資源を充実させているが、このところの販売実績は過去8年間で最低を記録しそうである。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・新年度が始まり、出荷計画はあるが、実施に時間がかかっているため、輸送量が激減している。	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（広報担当）	求人数の動き ・5月の連休後、求人広告が大幅に増加している。あらゆる媒体について問い合わせが殺到している。	
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・OAクレーク等、事務職の求人ニーズが高く、派遣会社の供給が困難な状況となっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数が若干増えている。通常の派遣で就業していたスタッフが派遣先に直採用になるケースが増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・就職希望大学生は複数の内定を確保し、「売り手」として、企業に対して優位に就職活動を進めている。企業側は充足に至らず、求人活動を続けている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人広告掲載の申込が3か月前と比べて、前年度比でも若干増えている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・4月の新規求人が、前年同期15.3%増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・いざ採用を決定するとなると企業は慎重であるが、求人企業は増えており、決定率は若干良くなっている。

変わらない	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・パート、アルバイト、派遣などで人を採用する企業について、状況は一部改善されつつあるものの、依然として人材不足のため、100%充足できない企業がある。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・例年5月の連休明けは求人数の増大が著しい時期であるが、今年は4月の新規採用が昨年より活発に行われたため、微増にとどまっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・全体の求人倍率は1倍台を超えているが、職種別の求人倍率でみると、事務系は0.5倍台とばらつきがある。
	職業安定所 (職員)	雇用形態の様子	・新規求人数は横ばいであるが、請負や派遣の求人が前年同月比2.5倍超となるなど、増加が続いている。新規求職者数は引き続き減少しており、特に、パート求職者は、28%減少している。
	民間職業紹介機関 (経営者)	採用者数の動き	・絞り込んでいた間接部門人員を中途採用で増やす企業が増加している。
	学校 [専修学校] (就職担当)	採用者数の動き	・昨年同時期と比べ、各企業の採用人数に大きな変化はみられない。
	学校 [短期大学] (総務担当)	採用者数の動き	・求人数は一貫して増えているが、採用基準等、厳選採用の姿勢は変わっていない。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求人側の求める20~40歳までで販売経験のある求職者数が少ない。広告費をかけている割に良い求職者が集まらず、人材不足が続いている。
悪くなっている	-	-	-